



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSACA CENTENNIAL

C/O OSACA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSACA, JAPAN

December 2002 No.6
 Chartered July 20, 1982

標語 Y'S SLOGANS (2002~2003)

クラブ会長：『心と思いを合わせ、共に生きる』
 国際会長：“Growth through service” 『奉仕による成長』
 アジア会長：“Into the bright light of selflessness”
 『無私の奉仕で輝く未来へ』
 西日本区理事：『ベクトルを合わせ、地域と共に活動を』
 中西部長：『心(こころ)豊かに！ワイズ・スピリッツを輝やそう！』

クラブ役員 Officers

会長：松浦 孝次
 副会長：中村 茂高
 “：谷川 俊一
 書記：山田 孝彦
 “：畠中 彬
 会計：三浦 直之
 ネット会長：松浦 和子
 Y連絡職員：浜野 昌保

月間強調テーマ：『EMC-M』

12月の聖句
 [Biblical Message of December]

マリアはイエスのおられる所に来て、イエスを見るなり足もとにひれ伏し、「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに」と言った。イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのを見て、心に憤りを覚え、興奮して、言われた。「どこに葬ったのか」。彼らは、「主よ、来て、御覧ください」と言った。イエスは涙を流された。ユダヤ人たちは、「御覧なさい、どんなにラザロを愛しておられたことか」と言った。
 (ヨハネによる福音書 11章32~36節)

Attention Please

- 12月第1例会は、12/7(土) YMCA土佐堀館で、土佐堀クリスマスに先だって、16:00~16:30に開きます。
- 12月第2例会は、12/18(水) 東洋ホテルで、17:30~18:30役員会、18:30~20:30「納会」をもちます。ディナーをいただきながら、この一年を振り返って、来るべき2003年への輝かしい出立！の心意気をお願いします。
- 1月第1例会は1/15(水)、第2例会は1/28(水)。

*12月例会当番 第1班 (山田、鈴木、谷川寛、貴多野)
 *12月お誕生日 Happy Birthday!!
 黒田君2日、谷川俊一君5日、中村隆幸君26日、
 浜野メネット17日

12月の例会 [December Club Meeting]

○ 12月 第1例会

日時：2002年12月7日(土) 16:00~16:30
 場所：大阪YMCA土佐堀館5階502号室

司会 山田 孝彦君

1. 開会点鐘 松浦 孝次会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 松浦 孝次会長
4. 聖句朗読 谷川 寛 君
5. 今月のテーマ「EMC-M」 栗山 佳三君
6. お誕生日祝い・ニコニコ献金 一同
7. その他連絡・報告 各担当
8. 閉会点鐘 松浦 孝次会長

○ 土佐堀クリスマスのつどい (合同)

12月 第1例会と同日の12月7日(土)

- * 17:00~17:45 礼拝「歌いながら歩む」
 大阪教会 岡村 恒牧師
- * 18:00~19:45 祝会「平和～遊ぶ・喜び」
 YMCA土佐堀館2Fホール

○ 12月 第2例会 -- 「納会」

日時：2002年12月18日(水) 17:30~20:30
 場所：東洋ホテル2階「寿の間」

- * 17:30~18:30 役員会
- * 18:30~20:30 「納会」会費@4,000円
 貴多野乃武次君一「都市をめざすディズニー」
 1人3分スピーチ

【クラブ統計 Statistics】 下欄()は、うち広義会員を表わす

2002年11月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 25名(1)名	メン	15(1)名	名	11月：切手 gr.	11月： 28,000円
例会出席 名()名	メネット	4名	名	現金 円	(02年7月以降の)
うちマークアップ 名	ビジター	2名	名	(02年7月以降の)	累計： 121,800円
	ゲスト	1名	名	累計：切手 2,435 gr.	(除く、クリスマス献金、
出席率 %	合計	22(1)名	名	現金 15,000円	オークション、記念献金)

今月は世界各地で盛んにクリスマスが祝われています。然しお祭り騒ぎをやる前に、この時代の中でクリスマスを迎える意義を考えてみたいと思います。

しばしばこのコラムで触れてきたように、神の子イエスが神の意志を伝えるために人間の歴史の中に降り立ったのがクリスマスの本当の意味です。そのイエスは人間の言葉で、人間としての行動で具体的に神の意志を伝えようとしてきました。

ベタニアの村にマルタ、マリア、ラザロという三きょうだいがおりました。ある日弟のラザロが病死し、その姉たちや村人はひどく嘆き悲しんでおりました。その家を訪れたイエスは激しく心を動かされ、彼らの悲しみを肌で感じ共感を覚えて涙を流されたと記されています。

聖書の中で涙を流したイエスの姿は、この個所でしか見当りませんが、人間イエスの愛の姿（それは神の愛を端的に示すものですが）が躍如として現れています。

自分の幸福や利益のみを追い求める人々の多いこの社会の中で、他者の幸、不幸を自分のこととして受け止め涙する暖かい心を取り戻すクリスマスでありたいと思います。

なお、ご参考のため、前の口語約聖書の同一箇所を記載します。「(33節の一部)・・・ユダヤ人たちは泣いているのを御覧になり、激しく感動し、また心を騒がせ・・・」

(聖句選、コメント：黒田巖之)

◆◆◆ 11月 第1例会 ◆◆◆

【 Report of the November Club Meeting 】

11月20日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル3F
プリテン：松浦 孝次

● ビジターに、大阪土佐堀クラブの工藤義正会長、大阪西クラブの成瀬康夫会長を、またゲストに南 YMCA スタッフの鈴木えみさんを迎えて、総勢22人の出席。工藤会長は、中西部の各クラブを廻るギャベルリレーとして、土佐堀クラブから当クラブへのバトンタッチで来訪された。

● 坂本千春メネットが司会し、聖句朗読も担当。冒頭、会長松浦は、「関西ののちの電話」バザー、土佐堀カーニバル、および大阪 YMCA チャリティーランがあいついで開催され、当クラブから多くの人たちにご奉仕いただいたことに厚く感謝する、と述べた。

● 11月は「BF」の月。栗山佳三BF委員長から説明があった。

「BFとは、使用済み切手を換金して、公式行事に参加する旅費等の資金源とすること。1933年アメリカとカナダで始まった」。鈴木さんのレポートのあと、全員がハサミを持って、切手をカッティングした。

● 「第15回世界YMCA大会に参加して」、谷川寛メンから大会の概要と紹介のあと(プリテン9月号記事参照)、若者の代表として日本から参加した南YMCA・鈴木えみさんからのレポートを聴いた。

「ユース大会」(7/12~14 メキシコで開催)には150人の若者が参加。「平和教育、HIV、若者の就労」の3点についてディスカッションした。つづく「世界大会」(7/15~20)には約100カ国850人、日本から24人が参加した。チャレンジ21について、テントに分かれて、人種民族差別や地球環境などをテーマに討議した。♯

On November 20th, the club's November meeting was held at the Toyo Hotel with a total of 22 Y's men, Y's menettes, and guests in attendance.

With its emphasis on "Brotherhood Fund" in this month, Y's man Keizo

Kuriyama, responsible for BF, briefed the meanings and purposes of the BF programs.

One of the highlights of the meeting was the presentation made by Miss Emi Suzuki, a staff of the Osaka South YMCA. Showing a number of the interesting pictures using the PC projector, she spoke about her experiences at the 15th YMCA World Council and the Youth Forum held in Mexico in July. We were much impressed with the various ways the youth took toward achieving the "challenge 21" programs of the YMCAs.

Another highlight of the meeting was the club's customary work in November, the sorting out of the good quality of used stamps among the ones collected. Though many Y'S men's clubs here had already given up this old style of funds raising activities due to inefficiency, we are still following this method for cultivating the Y's Men's spirits among our club members.

♯鈴木さんが、YMCA が世界的に、また多方面にわたる広がりのある活動をしていることを改めて知り「YMCA は素晴らしい」と思った、そして日本をより知らねばならないことも悟った——と語ったのが、印象的であった。



(11月第1例会で、鈴木えみさん(右中)から、パワーポイント画像をみながら世界YMCA大会のレポートを聴く)

お知らせ

1. ワイズメンズクラブ中西部会・合同新年会
2003年1月11日(土) 11:30~14:30 リーガロイヤルNCB(大阪市北区中之島) 会費 6,500円。
2. ワイズメンズクラブ中西部会・合同メネット会
2003年3月8日(土) 11:00~13:30 太閤園(大阪市都島区) 会費 4,000円。
3. 紀泉里山自然観察会(土佐堀YMCA運営委員会主催)
2002年12月8日(日) 11:00~16:00
大阪府泉南市信達葛畑 堀河ダム上流 会費 300円。

YMCA ニュース

連絡職員・浜野 昌保

早いもので2002年最後のブリテンを書く季節となりました。今年も大阪YMCAはワイズメンの方々にご支援いただき感謝申し上げます。

★大阪YMCA早天祈祷会

日時：12月20日(金) 午前7時30分～8時30分

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

証し：山下祐三氏(日本基督教団梅花教会牧師)

問合せ：大阪YMCA ☎06(6441)0894

★ハッピークリスマス宿泊プラン 1日10組限定!

日時：12月24日(火)、25日(水) 宿泊

宿泊先：YMCA六甲研修センター 料金：7,500円

問合せ：YMCA六甲研修センター ☎078(891)0050

関西いのちの電話バザー に奉仕しました

松浦 和子 メネット

11月2日(土)、十三にある大阪贖主教会で開催。天候に恵まれ大勢の方の参加があり、大盛況でした。センテニアルのメンバーは、教会の入口で、果物と衣類を販売しました。

男性陣——山田・栗山・福永・三浦・中村茂高・石津さんが果物を、私たちは隅田・中村幸枝さんと松浦(ほか2名)が衣類を売りました。格安なので、冬のジャケットを1枚買われたあと、またもう1枚というお年寄りの方もおられました。「今冬はこれで過ごせる」と喜んでおられました。肌寒い日でしたので、ジャケットがよく売れました。いのちの電話の方々とも親しくなれ、楽しい一日でした。



(「暖かいですよ・・」衣類を販売するメネットさんたち)

第2回とさぼりカーニバル盛會裡に

11月4日(月)開催。土佐堀館に関わる人々や近隣の方々を含め、昨年より350人も多い850人の参加があった。「夢ある楽しいおもちゃ箱のような館内」となる賑わいだった。わがクラブからは、山田・三浦・中村茂高・福永・浜野・松浦メンと松浦メネットがバザー(4F)を、坂本・中村幸枝・中村珠実メネットがポップコーン販売(1F)を担当した。

とさぼりカーニバルでの収益金296,281円は、クリスマス献金、日本語留学生奨学金、学Y支援に捧げられる。

とさぼりカーニバル に参加して

中村 幸枝 メネット

カーニバルに初参加して、ポップコーンを担当。坂本メネットは家庭用のポップコーンマシンを持参してくれて、素敵なディスプレイになりました。中村珠実メネットは料理の先生、全面的に頼らせて頂きました。キヤラメル味は作り置きが効くとのことで、前日に沢山作って、当日は大袋をサンタさんのように運んでくださいました。塩バターは、その場で作るのが美味しいとの指導で、ロビーで作りました。

2種のセットで@100円。とても気に入ったのか何度も買いに来る子に、坂本メネットが「そんなに食べて大丈夫？」と心配。買うのを悩んでいる子もいて楽しいひとときでした。



(ポップコーンはおいしいよ!と頑張るメネットさん)

第8回大阪YMCAチャリティーラン

11月17日(日)、快晴のもと、淀川河川公園(枚方)で開催。54チームが出場、ランナー・ボランティア合わせて500名もの参加があった。わがクラブからは、3チームが出場。順位制では「センテニアル太陽・生野高等専門学校ドングリーズ」が見事3位(25分)。宣言タイム制では、クラブメンバーが走った2チームは、宣言タイム(50分)より8～13分も早くゴールイン。「おぼろ月」が7位、「流れ星」が16位であった。

三浦・畠中・山田・鎌田・石津・中村茂高・新保・谷川寛メン、坂本メネット、松浦ファミリー、また関西テレビ青少年育成事業団の野々上・三宅・湯浅さんが参加し、活躍いただいた。設営を含めての皆さまのご奉仕に感謝いたします。収益金324万円余りは、心身に障害のある子どもたちへの支援プログラムに用いられます。



(チャリティーランに参加した人たち)

今月の所感 鈴木 謙介 Paul William Alexander のこと—その1

11月10日はワイズデーだった。12月に入ると、クラブの創立者 Judge Paul William Alexander の生誕日が、Dec. 8. 1888 である。奇しくもパールハーバー奇襲の日と重なる。DAY to Remember として覚えやすい。因みに、Judge の召天日は June 29. 1967 なので、79歳死去。

私どもは Judge に、1965年カナダ・フレデリクトンの国際大会でお会いした。その時彼は「日本の天皇ヒロヒトは偉大な方だった。深く尊敬する」と言われた。その2年後もう死去された。日本の何人かのワイズメンに同じようなことを言われたので、ひょっとすると Judge は来日されたことがあり、日本がまだ占領時代にGHQの法律顧問でもされたことがあったのではないかと思った。

日本の最高裁判所に関係があった東京のひとりのワイズメンが、ある時最高裁の玄関で Judge Alex. に出会った。挨拶して「YMCAはあちらの方です。お寄り下さい」と言ったら、「有難う」とうなずかれた——というストーリーに勇気づけられて、Judge Alex. の来日の有無を徹底的に調べたが、どうしてもその記録がない。

(1月号につづく)

ニコニコ・メッセージ 【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

- 中西部のギャベルを持って久しぶりに出席。松浦会長とは今月は5回くらい、いろんな所でお会いしています。感謝。(土佐堀クラブ・工藤義正)
- 初めて参加させて頂き英語でY'sソングには驚きました。私がY'sに入会する橋渡しをしていただいた湯浅氏に会えなかったのは残念でした。アメリカンサミットに対しニコニコ献金をさせて頂きます。(大阪西クラブ・成瀬 康夫)

“ごぶさた”メッセージ

- 終業時間の関係で、例会出席間に合いません。(川村 一夫)
- チャリティランで走るの2回目でしたが、年1回走れるのがしあわせです。本校、生野高等聾の生徒もがんばって走って3位でした。(新保 正秋)
- 20日は夜の会議が重なり、出席できません。チャリティランご苦労様でした。(畠中 彬・ひろみ)
- 仕事や自治会の会合が多く、例会に出席できません。皆様によろしく。(湯浅 充章)

会員からのメッセージ

- チャリティランで走って体力の無さに気づきトレーニングをしなければならぬと考えています。(石津 雅人)
- 2回続けて欠席したので今回は久しぶり皆さんとお会いできて楽しかったです。チャリティランも楽しかったです。(鎌田 史朗)
- あ〜、もうすぐ12月だ！えらいこっちゃ。毎年、同じことを言ってます。(貴多野 乃武次)
- いのちの電話バザーを風邪のため欠席しましたところ、バザーに参加されたセンテニアルの有志の方々か

ら思わぬプレゼントを頂き感激しました。メキシコ世界大会のお土産話、大変興味深く拝聴しました。

(黒田 敏之)

- BFの切手切に70余年の歴史があることを始めて知りました。今後もシコシコと続けたいと思っています。(栗山 佳三)
- 先月ソウルから板門店を訪れました。途中高さを競うように向かい合い大きく翻える南と北の国旗が印象的でした。今日はYMCAの世界大会の様子をうかがい世界の人々が集う大切さ、楽しさを感じました。(隅田 恵子)
- 今夕はYMCA世界大会のレポートを聞くことが出来て感謝です。(田中 稔二)
- 鈴木さんの「世界YMCA大会」の話はAUDIO-VISUALで行われ大変迫力ありました。世界YMCAの動きを理解するのに役立ったと思います。(谷川 寛)
- 鈴木さんのお話を聞き、さらにYMCAの活動が世界につながっていることを写真を見ながら実感することが出来ました。(中村 茂高)
- YMCAの取り組みがTV(NHK)で放送されていました。こんなにきめ細やかにされているんだ…と本当に感じました。今日の鈴木さんのご報告にも感謝。

(中村 幸枝)

- 土佐堀カーニバル、チャリティランなど多くの活動にご奉仕いただきありがとうございます。皆様のおかげでいずれも大成功でした。これからもよろしく願いいたします。(浜野昌保)
- この1ヶ月は何だか大変長く感じられ皆様とは久しぶりにお目に掛かる様な気がします。YMCAの若手スタッフの熱意に溢れた世界YMCA大会のレポート、切手整理の間のおしゃべりタイムなど盛り沢山のプログラムを楽しみました。12月例会での再会を心待ちに致しております。(藤原 正巳)
- 鈴木さんが、世界大会に出られて、YMCAの世界的広がり、取上げている問題領域の多様さを深く覚えた、と話されたことから、YMCAの偉大さとその使命の大きさを思いました。(松浦 孝次)
- 世界YMCA大会について谷川さん、鈴木さんのお話、興味深く聞かせて戴きました。ゲストを迎え大勢の参加があり楽しい例会でした。(松浦 和子)
- 例年のチャリティランにはセンテニアルクラブから2チームが出場しました。自分のクラブメンバーだけで2チーム競技に選手が出るというのは、わがクラブだけです。誇るべきことです。その他に新保校長先生の「ろう学校」チームのスポンサーにもなりました。(山田 孝彦)
- チャリティランは好天にも恵まれ大盛会でした。今年もあとわずか、心新たに新年を迎えよう。(三浦 直之)

《 編集後記 》

- 11月クラブ統計の一部、11月第2例会や11月BFニュースが、11月23日現在未確定で、本号に記載できませんでしたが、1月号でご紹介します。
- ブリテン11月号第1面の「10月クラブ統計」の、ゲストを1→2名、BFポイント現金4,000円→5,000円に訂正します。(松浦 孝次)